

目 次

はじめに

第 1 章 金融取引に対する課税に関する諸構想の比較分析—1

- 1 はじめに—革新的な構想の必要性 1
- 2 トービン、シュパーンから通貨取引開発税へ 4
- 3 通貨取引開発税から金融取引税へ 9
- 4 金融取引税からグローバル通貨取引税(グローバル連帯税)へ 15
- 5 結びにかえて—金融取引税の今後 21

第 2 章 EU金融取引税の制度設計と実行可能性———31

- 1 EU金融取引税導入の意義 31
- 2 金融取引税の設計 38
- 3 金融取引税の実行可能性 45
- 4 まとめ—理論的検討段階から実行段階に移った金融取引税 51

第 3 章 日本における有価証券取引税の歴史的経緯と その法的評価———55

——国際的な金融取引税の導入を視野に入れて

- 1 はじめに 55
- 2 金融取引税と有価証券取引税 56
- 3 我が国の有価証券取引税の導入の背景 62
- 4 有価証券取引税の推移——有価証券取引税の廃止の背景とともに 70
- 5 おわりに 81

第 4 章 タックス・ヘイブンとグローバル金融規制の動向——85

- 1 課題と構成 85

2	日本におけるタックス・ヘイブン研究の動向	86
3	タックス・ヘイブンの実態	92
4	タックス・ヘイブン規制の動向	101
5	結びにかえて——今後の課題	113
第5章 地球規模での批判的・再帰的自己制御——119		
——大気の私有化からグローバル・タックスおよび公共財へ		
1	はじめに——グローバル気候ガバナンスの制度設計に向けて	119
2	地球温暖化	122
3	排出量取引制度	124
4	キャップ・アンド・トレード制度と炭素税の是非	126
5	課税の利点——倫理的、およびグローバル・ケインズ主義的見地からの考察	129
6	地球炭素税の実現性に関する倫理的・政治的考察	133
7	結 論	139
第6章 グローバル・タックスとグローバル・ガバナンス——155		
1	はじめに——グローバル・ガバナンスの改革に向けて	155
2	トーピン税機関(TTO)	158
3	持続可能な開発のための連帯基金(FSDD)	160
4	UNITAID(国際医薬品購入ファシリティ)	163
5	グローバル連帯基金(GSF)	166
6	グリーン気候基金(GCF)	167
7	グローバル租税機関とグローバル議会	172
8	おわりに	175

あとがき